



小松市小学校長  
会長 池田 巧

## つながりを広げるPTA活動に

「早寝・早起き・朝ごはん」の習慣は、近年の脳科学の進歩による神経伝達物質等の解明によりその重要性が改めて指摘されている。習慣化の結果として得られる児童・生徒の気持ちの落ち着きや意欲は、学校で学習する上での土台である。有名な進学校の生徒指導は「早寝・早起き・朝ごはん」と「整理・整頓」と聞いたことがあるが、土台づくりは、脳をきたえる際にもっとも大切なことである。改めて、小松市立学校PTA連合会が、長年継続して取組を進めている「早寝・早起き・朝ごはん運動」の意義は大きい。そして、この習慣化に向けての取組は、学校でも進められている。

このように保護者と学校が連携して行う活動は、近年多岐にわたっている。特に中学生サミットの取組の中では、携帯電話、スマホ、インターネットの扱い方に対して、データ化した本市の実態を基に、生徒と保護者が話し合う。取組はこれで終わるのではなく、保護者・生徒の立場からメッセージとして市内に呼びかける活動となっており、他の地域では見られない先進的な取組のように思う。さらに、母親代表の研修もPTA活動の新しいスタイルを示しているように思う。学んだ子育ての「壺」を広く啓発するといったこれまでにない願いを感じたからである。その熱意に引き込まれて、PTA活動におもしろさを感じた母親の方も多かったのではないと思う。

「継続」と「啓発」により「人とのつながり」を広げていく、言い換えれば「社会に開かれていくPTA」といった活動の展開は、今後のPTA活動の一つの方向性を指し示しているように思う。学校もまた、「社会に開かれた教育課程」が次期学習指導要領の目玉の一つとなっている。学習する内容や子供達の力の引き出すプロセス等を通して、社会との接点を創りだしていくことが求められている。学校と地域・保護者とのさらなる連携を期待したい。



小松市立学校PTA連合会  
会長 岡田 直樹

## 今年度を振り返り

平素より小松市立学校PTA連合会に対しまして、ご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。会員の皆様と活動をしてきました平成28年度も残りわずかとなりました。

今年度は新たな取り組みとして、小松市教育委員会と協力し事業を開催いたしました。

まず母親委員会によるグループ別研修ですが、小松市教育研究センターと共催で「多賀クリニック 多賀院長」の講演を2回聴講し、今子どもたちに対して保護者が何をすべきかを考えていく大切な研修となりました。この事業は県内のPTAに大変影響のある事業であり注目されています。母親たちが真剣に考え導き出した報告書を是非とも皆様にご覧いただきたいと思っております。また、グループ発表の内容をDVDに収録しており、各学校にお渡しをしていますので合わせてご覧いただきたいと思っております。

次に新世代委員会が今まで開催をしておりました「新世代会議」を、今年度から小松市教育委員会が開催している「中学生サミット」と共催でとり行うこととなりました。昨年までと同様中学生主体の中学生サミットですが、そこに大人（保護者）のサミットを同じテーマで行い、課題と行動を共有させていく内容となっております。これは全国にない画期的な事業となります。

このように当会も時代に合った事業の見直しをしていき、皆様への情報発信を今まで以上にしていかなければならないと考えております。大切なことは子どもたちにどのような姿を我々大人が示すことができるのかだと思っております。常に「すべては子どもたちのために」を念頭において事業構築をしてまいります。

小松市立学校PTA連合会は各単位PTAとPTA会員の受け皿として、これからも活動をしてまいりたいと思っておりますので、今後ご協力をいただきますようお願い申し上げます。



# 早寝早起き朝ごはん運動

## 大人が変われば子どもも変わる

日時／平成28年11月20日(日) 13時～16時  
場所／サイエンスヒルズこまつ わくわくホールにて



特別委員会 委員長 江口 充

子どもたちが元気に健やかに成長するために、適度な運動やバランスのとれた食事や十分な睡眠が大切ですが、最近の子どもたちを見ると「よく体を動かし、よく食べ、よく眠る」という子どもにとって当たり前で必要不可欠な基本的な生活習慣が大きく乱れているのが現状です。子どもがこうした生活習慣を身に付けていくには家庭の果たすべき役割は大きいと思われ、家族で生活習慣を身に付け、子どもたちが元気に健やかに成長するために「早寝早起き朝ごはん運動」を実施しました。

まず、夏休みには小松市内の全小中学校の子どもたちに、「わが家の標語」「わが家の朝ごはん」「ポスター・絵画」を募集しました。2,421名の子どもたちから、3,108点の応募があり、また地域功労部門にも5つの団体から応募がありました。そして、小松市内にこの運動を広げるために11月20日に、小松市民大会を行いました。夏休みに応募いただいた作品の中から優秀な作品と、この運動の活性化に尽力された地域の団体を表彰させていただきました。また市P連の母親委員会からの発表、インターネットと携帯電話の正しい使い方セミナー、体力測定やヘルスチェック、カブッキーじゃんけん大会を行い、家族で楽しみながら基本的な生活習慣の大切さを学び、生活リズムの向上につながる大会となりました。この運動を契機として、家族や地域が一つとなって、子どもたちが元気で健やかに成長するよう見守っていただければ嬉しく思います。

最後になりますが、早寝早起き朝ごはん運動においてご理解ご協力をいただいた小松市をはじめ多くの団体の皆さまに感謝申し上げます。

## 〈早寝早起き朝ごはん運動〉入賞者のみなさん

### ◆『わが家の標語』部門

御幸中学校 1年 奥村ののかさん・西尾小学校 5年 丸七明日香さん  
月津小学校 5年 牧 夏音さん・安宅小学校 3年 米谷倅之輔さん  
矢田野小学校 1年 北野 友翔さん

### ◆『わが家の朝ごはん』部門

南部中学校 2年 竹田 暁さん・月津小学校 6年 木田 絵凜さん  
第一小学校 4年 米谷 遙さん・月津小学校 3年 中村 奏稀さん  
芦城小学校 2年 多田 一輝さん

### ◆『早寝早起き朝ごはん運動』ポスター・絵画部門

第一小学校 6年 鍋島ころこさん・波佐谷小学校 5年 城下稀吉郎さん  
芦城小学校 4年 松島 美詩さん・芦城小学校 4年 園井 綾乃さん  
犬丸小学校 2年 熊田 虹湖さん・芦城小学校 2年 金田紗也野さん

### ◆『早寝早起き朝ごはん運動』地域運動部門

千木野町公民館子供育成会 様

### 2017 早寝早起き朝ごはん CALENDAR



入賞された内容が2017年のカレンダーになりました！



- ◆オープニング
- ◆開会挨拶
- ◆来賓挨拶
- ◆表彰式
- ◆研究発表「小松市立学校PTA 連合会母親委員会の研究発表」  
「インターネット・携帯電話の正しい使い方」セミナー
- ◆カブッキーとジャンケン大会

### オープニング



コマツ HAPPY MELODY 児童合唱団です！

### 表彰式



受賞された皆さんおめでとうございます！

### 研究発表



母親委員会による発表！

### じゃんけん大会



賞品は特大カブッキーパン！

### 工作コーナー



カブッキーの貯金箱づくり！

### 体力測定コーナー



大人も子どももチャレンジ！





# 第3回 母親委員会

グループ別  
研究発表会

日時：平成28年10月19日(水) 19:00より 場所：第一地区コミュニティセンター 多目的ホール

2回にわたり、多賀クリニック院長 多賀千之先生のお話を拝聴し、グループ毎にまとめて発表しました。各小中学校にグループ別研修報告書と発表内容を収録したDVDを配布しますので、是非ご覧ください。

## A 子どものころに寄り添う子育て



奥 さおり(犬丸小) 西多 洋子(芦城小) 片山 恭子(今江小)  
押野 千晶(符津小) 山本 千恵(栗津小) 植生 睦美(木場小)  
山前妃佐恵(国府小) 村田 千穂(波佐谷小)

## B 子どもの自己肯定感を高めるために



中村真奈美(申小) 野口 千里(安宅小) 吉川 佳子(荒屋小)  
島田 泉(苗代小) 西野 悠子(蓮代寺小) 成田 清美(西尾小)  
角 陽子(東陵小) 鍋島 類(能美小)

## C 子どもに夢を語ろう



山本 尚美(矢田野小) 和田 昌美(稚松小) 新藤あつ子(第一小)  
東 聡実(向本折小) 中野やよい(日末小) 広瀬 笑子(月津小)  
吉村 花子(那谷小) 野村 典子(中海小) 反保 幸代(金野小)

## D 思春期を笑顔で過ごすために



南出 麻希(芦城中) 忠谷 千鶴(丸内中) 森 由里(松陽中)  
萩本 優美(御幸中) 和田 恵子(南部中) 元角真由美(国府中)  
黒古 雅子(中海中) 向出 文子(松東中) 中村 知子(安宅中)  
山岸 貴子(板津中)

## 「ありがとう。」を伝えて

母親委員会 委員長 堀田 花菜子(申小)



「ありがとう。」たった一言ですがこの言葉は魔法のような力を持っています。

子どもが自己肯定感を高めるうえで非常に効果的で重要です。「ありがとう。」と伝えることにより、自分が必要とされていて存在価値があると思えるようになり、また次に何かしようとするチャレンジ精神も出てくるように思います。わたしも、日々の生活の中で子どもたちに「ありがとう。」を伝えるよう努力しています。家事のお手伝いをしてくれた時、ちょっとした物を取ってもらった時、優しい言葉をかけてくれた時など些細なことと思えることに対しても「ありがとう。」と言います。親が「ありがとう。」と伝えていると子どもも「ありがとう。」と言うようになります。ある日、仕事を終え帰宅した時、「お母さん、いつも私たちの為に仕事がんばってくれてありがとう。」と言ってくれました。残業もありクタクタになっていましたが、その「ありがとう。」の一言で仕事の疲れも飛んでいってしまいました。「ありがとう。」の言葉は、子どもだけでなく大人にとっても効果のあるものです。ぜひ、みなさんのご家族全員で「ありがとう。」を伝え合ってみてください。家の中が普段よりも笑顔であふれることでしょう。

最後になりましたが、母親委員の活動を通じて多くの方と出会い、沢山の事を学ぶことができました。母親委員の皆様におかれましては、一年間ご協力いただきまして心より感謝申し上げます。

# 母 親 研 修 会

日時：平成28年12月9日(金)

## ～ 日 程 ～

1. 県 庁 (見学)
2. ヤマト醤油味噌 (見学)
3. 発酵美人食堂 (昼食)
4. ヤマト糰パーク (見学)
5. みそボール作り (体験)



県庁見学



発酵美人食堂にて  
昼食



ヤマト醤油  
味噌見学

ヤマト糰パーク見学

## 参加者の感想

- みそボール作りでは楽しく体験でき、家族でもまた作りたと思いました。
- しょうゆソフト、おいしかったです。
- 普段見れない災害対策本部を見学することができ貴重な体験でした。



みそボール  
作り体験



母親委員会 広報担当

吉野 鍋生 植生 野村 典子 花子 (那谷小)

野村 典子 (中海小)

鍋島 類 (能美小)

植生 睦美 (木場小)

一年間  
ありがとうございました

母見委員





パネルディスカッション



今後の活動を決定



ポスターコンクール最優秀賞発表



会場も参加

## 事業概要

- 日時・場所 平成28年11月23日(水) 13:20~16:30  
第一地区コミュニティセンター 多目的ホール
- 目的 ネットトラブルの未然防止策と生活改善策の策定
- 対象者 小松市立中学校生徒 30名  
(各中学校 3年生2名+2年生1名 男女混成)
- 内容 実行委員会において制定された“ネット三か条”の発表および啓発活動(ポスター・CM動画)の紹介

## ●もっと子どもに目をかけて

新世代委員会 委員長 阿戸 寛明

今年度の新世代委員会事業は、小松市教育委員会が昨年度から開催している“中学生サミット”の支援でした。今回、2回目となるサミットは、前回と同様に中学生が中心となって開催されました。サミットの前段の作業として、ネットに関するアンケート調査・分析および協議を行う実行委員会を開催し、ネットトラブルに関する改善策を、ネット三か条という形で制定しました。サミット当日においては、趣旨やこれまでの経緯、実行委員会の概要報告および三か条の発表や、ポスターコンクール・CM動画紹介のほか、パネルディスカッションも行い、今後も活動を継続していくことなどを決定しました。

新世代委員会としては、実行委員会にて同じ課題に対して保護者の立場から意見を発表したほか、母親委員と合同で“保護者実行委員会”を開催し、事前に行った保護者アンケート調査の分析結果から、保護者に対してのネット三か条を制定させていただきました。アンケートにご協力いただいた保護者の皆さまには、大変ありがとうございました。

サミットや実行委員会を通して、ネット問題について都会と地方とに差がないことや、スマホ等に危険なアプリや使い方があること、そして、子どもの問題に親自身が強く関わっていることがわかりました。中学生自身もネット問題を自分たちの問題として捉え、本音で話し合い、トラブルに巻き込まれる人が少しでも減ってほしいという思いが、そして何より声には出さずとも、生徒たちが親ともしっかり関わりたいという思いが強く感じられました。継続活動の中で決められた“ネットを考える日”を、子どもと一緒に親としても取り組んでいこうではありませんか。

## 中学生ネット三か条

- 【時間部門】 時計見て！もう今日終わるよ 大丈夫？
- 【人間関係部門】 その言葉 相手の前でも 言えますか？
- 【危険防止部門】 ネットでの“この人いい人” それ本当？

## 保護者ネット三か条

- 【時間部門】 今日からは 家族一緒に スイッチオフ
- 【人間関係部門】 画面より 子どもに目をかけ 声をかけ
- 【危険防止部門】 子どもの ネット友達 知っていますか？



# 中学生サミット 感想

## 生徒の感想

- 中学生サミットではとても有意義な時間を過ごすことができました。小松市のネット利用状況について知れたことはもちろん、自分自身にも大きな影響がありました。アンケート結果などから読み取って自分の考えを持ち、他の人と意見交換して発表する、ということを今までやったことがなかったのが新鮮でした。また、そこでネットの使い方の良い点や怖い点を知ることができました。

中学生サミットの本番はパネルディスカッションの担当でした。このような重要な役割を持つことができ、とても誇りに思います。公の前でディスカッションをする機会は今までに一度もなく、心配で心配でたまりませんでした。けれど、実際にやってみると楽しいな、と思えるようになりました。ディスカッションでは私たちだけではなく、生徒や先生、親の意見を聞くこともでき、色々な角度からの考え方を知ることができました。それを聞いて、私たちが今まで考えていたことはネットの悪い面が中心でしたが、ネットには良い面もあるのだな、と振り返ることができました。物事には良い面も悪い面もあることをふまえて、これからは多面的な考え方をしていこうと思いました。

自分がアイスブレイクをできるまで成長したことに、自分自身驚きました。また、自分の意見を持って、積極的に発表できるようにもなり、とても自信ができました。このように自分に自信がついたり、成長したりすることができる中学生サミットをこれからも必ず続けていってほしいです。

(実行委員)

- 他校の生徒とも仲良くなれて、ネットの中で話すよりも人と会って会話しコミュニケーションを取ることの楽しさを改めて知ることができました。
- ネットの問題は子どもたちだけの問題ではなく親の影響があるということを知ったので、サミットで話し合った内容をいろんな世代の人に聞いてもらいたいです。

## 保護者の感想

- 自動車学校で交通ルールを学ぶように、もはや必要不可欠となったネットについても親子でルールを学ぶ場をもっと増やさないといけないと感じました。
- 広い世界と繋がるための道具であるはずのネットが、逆に狭い世界での同調圧力を高めるよう働いているケースがあるのは残念です。
- 「ネットを考える日」のネット使用時間は当然ゼロ時間だと思っていたが、そうならなかったことが衝撃的だった。



# 単Pだより

向本折小学校

## 「地域と連携した心をはぐくむ活動」

向本折小学校 育友会会長 谷口 和也

向本折校下では、育友会ではなく地域の方が主となり、子どもたちのために活動を行っているものが沢山あります。PTA活動ではありませんが、今回はそちらをご紹介します。

まずは「農作業」です。トマト・さつまいも・大根の種まき(苗植え)から始まり、夏休みの水やりを経て、秋に収穫をしています。畑やビニールハウスの準備、野菜の説明など、全てを地域の方々が行ってくれています。

次に「前川の生物・水質調査」です。地域の方々の見守り・指導のもと、6年生が川に入り調査を行います。調査内容の講義やカレーライスの振る舞いなど、こちらも全てを地域の方々が行ってくれます。これを書きながら、改めて地域の方々子どもたちのために頑張ってくれている事に気付かされました。

最後に松寿園への訪問です。子どもたちがお年寄りに接する時間を設けてくれた松寿園様にも感謝しております。

PTA活動は従来通りで来てしまっていますが、形骸化した活動から心を育む活動へシフトしていけたらいいなと考えています。まずは地域の方々との連携をとれるよう頑張ります！



## ひだまり



### やってみよう!!

小松市立学校PTA連合会 副会長 丸山佳世子

今年の初め、テレビを観ていると大きな筆で「やってみよう」と書き初めをしているCMが流れ、「やりたかったこと やってみよう 失敗も思い出〜♪」というフレーズが印象に残りました。何度かこのCMを観ているうちに、新しく何かを始めてみたくなり、以前から興味があったヨガの教室に行くことにしました。初めての場所に一人で行くのはドキドキしましたが、始まるとすぐに集中することができ、リラックスした時間を過ごせたので、やってみてよかったと思いました。

思い返せば、昨年から市P連の役員をさせていただくことになり、初めは自分にできるだろうかととても不安でした。でも今は、市P連や母親委員会で多くの方々と出会えて、役員をやって本当に良かったと思います。人生初の司会や総会での会計報告などの緊張する場面もたくさんありましたが、いつも周りの皆さんが励まし支えてくださったおかげで、無事に務めることができ、感謝しています。何かにチャレンジする時は、不安や緊張もありますが、新しい出会いや発見があり「やってみよう！」と一歩踏み出すことは大切だと改めて思いました。市P連の活動に携わることによって、自分の成長につながる貴重な経験となりました。皆さんも機会があればPTAの活動に参加してみませんか。

### 編集後記

広報誌の編集で色々な人の考えに接することができ、とても勉強になりました。

代々受け継がれてきた役割をなんとかか次の人にパスできそうであり、ホッとしています。皆さん、ありがとうございました。

広報委員長 出淵 順一(日末小)

### 広報委員会

宮元 公彦(苗代小)・橋 紀子(今江小)  
谷口 和也(向本折小)・松下 正樹(金野小)  
得田 恭平(犬丸小)・中井 泰孝(犬丸小)  
中村 健司(犬丸小学校校長)

